

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2014年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

- 練習は指定された練習場で競技役員の指示に従うこと。特に100mスタート付近は危険防止に努めること。
- 練習会場（補助競技場・雨天練習場）での練習は、トラックのみとする。

## 3. 招集について

- 招集所は、競技場外（100mスタート地点の外側）付近に設ける。
- 招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。  
但し、男子100m・男子200mについて、招集完了時刻は下記のように行うので注意すること。

競技名	組	招集完了時刻
男子 100m	1組 ～ 15組	9:40
	16組 ～ 30組	10:15
男子 200m	1組 ～ 11組	9:30
	12組 ～ 22組	9:55

- 招集受付の際には、ナンバーカードを見せること。
- 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものと処理する。
- リレーオーダーは招集完了時刻の60分前までに、所定用紙に記入し、競技者係（招集所）に提出すること。  
また、リレーオーダー提出後は、必ず招集完了時刻までに招集手続きを完了すること。

## 4. ナンバーカードについて

- ナンバーカードは、日本陸上競技連盟登録番号のものを使用し、ユニフォームの胸部・背部につける。  
ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部もしくは背部のいずれかにつけるだけでよい。
- トラック競技に出場する競技者は、写真判定用腰ゼッケンを招集所で受け取り、所定の位置へ取り付けて、競技終了後フィニッシュライン付近で競技役員に返却すること。

## 5. 競技について

- その競技に出場している競技者以外は、競技場内（トラック・フィールド）に立ち入ることはできない。
- スターターの合図は英語とする。（「オン・ユア・マークス」、「セット」）
- 不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。
- 短距離走では、安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- 次の競技では、その組のスタート後、以下の指定した時間が経過した時点でその組の競技を終了する。

	3000m	5000m	5000m競歩
男子	----	20分	35分
女子	13分	----	35分

- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまで下記のとおりとする。

種目	性別	練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm
	女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	3cm
棒高跳	男子	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	---	---	10cm
	女子	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80	---	10cm

- 走幅跳のピットは、Aピット：トラック側、Bピット：スタンド側とする。ベスト8以降の試技はBピット側で行う。
- 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m、女子9mの地点に設置する。

## 6. 競技用具について

- 競技に使用する用器具は、原則として主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールについては、個人所有の物を使用できるが、競技開始前に跳躍場において競技役員が検査を行う。
- 投てき用具については、個人所有の持ち込みを認める。ただし、希望者は各競技開始の120分から60分前までに検査を受け合格したものに限り使用することができる。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、競技者全員で使用できるものとする。

検査場所：北側ゲート100mスタート地点の外側付近

- (3) 助走路が使われるフィールド競技では走高跳を除いて、マーカーは（主催者が準備したもの、または承認したもの）2個までおくことができる。

## 7. 競技用靴について

本競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンの数は11本以内、長さは7mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は9mm以内とする。また、スパイクピンの先端の直径は4mm以内とする。

## 8. 表彰について

- (1) 表彰は、決勝アナウンス後直ちに行うので、速やかに表彰係の所（競技場正面エントランスホール）に集合すること。他種目出場で表彰に出られない場合は、必ず連絡をすること。
- (2) 各種目の第3位までの入賞者に賞状を授与する。

## 9. 更衣室について

- (1) 更衣室は本競技場の1階に用意されている。
- (2) 更衣室は更衣のみ使用できる。更衣後の荷物は各自において管理すること。
- (3) 貴重品類等の管理は各自で行うこと。万一の紛失・盗難にあっても主催者は一切の責任を負わない。

## 10. その他

- (1) 応急措置を必要とする事故が生じた場合は、大会本部に連絡をして処置を受ける。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、以後主催者は一切の責任を負わない。
- (2) プログラム記載事項に訂正がある場合は、競技開始前に競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと。（手続き用紙は大会本部にて用意する）
- (3) 記録証明書を希望する競技者（チーム）は、大会本部に1通300円を添えて申し出ること。
- (4) 本大会の記録は、記録掲示板およびインターネット（岡山陸上競技協会HP）に掲載する。
- (5) 競技場内は「全面禁煙」です。